キャラクター名
ヴォイド

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス モルフェウス	ワークス		カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	中学生～高校生？	性別	不明瞭
覚醒	探求	衝動	妄想	初期侵食率	39 %
出自	自己の不定義	経験	裏社会での生活	邂逅	情報屋

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2		0			2
感覚	3	1	0	1	4	9
精神	2		0			2
社会	1		0			1

HP	26
行動値	20
(非装備時)	20
戦闘移動	25
全力移動	50

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1	3	ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚	6		意志		5	調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ボルトアクションライフル	射撃	9r+4		8		同一エンゲージ攻撃不可、マイナー消費で達成値+5
↑100%未満	射撃	15r+9		8		
↑100%	射撃	17r+9		8		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
サイドリール	
手配師	
要人への貸し	
ボルトアクションライフル	
ウェポンケース<ボルトアクションライフル>	
思い出の一品	
アフターライフ:濃縮体<罪人の枷>	
マルチエフェクター×11	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
D:実験体	P	N		
情報屋	P 好意	N 脅威		
FH	P 懐旧	N 憎悪		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	4	残り財産P：	0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
黄金錬成	2	基+3	常時	至近	自身	自動		
効果：財産点+Lv*10								
尾を食らう蛇	1	4	セット	至近	自身	自動		
効果：HP-1D 背徳の理使用								
背徳の理	3	3	オート	至近	自身	自動		
効果：ウロボロス使用時判定ダイス+Lv*2D								
CL:ウロボロス	3	2	メジャー	-	-	シンド		
効果：C値-Lv（下限7）								
原初の赤:罪人の枷	10	4	メジャー	武器		白兵射撃		
効果：命中時対象は判定値を-Lv*2								
混色の氾濫	3	2	メジャー	-	範囲（選択）	シンド		
効果：原初組み合わせで範囲化								
原初の緑:神の眼	1	2	リアクション	至近	自身	知覚		
効果：ドッジエフェクト								
RF:ウロボロス	3	2	リアクション	-	-	シンド		
効果：C値-Lv（下限7）								
原初の黒:時の棺	1	12	オート	視界	単体	自動	100%	
効果：判定を失敗させる　基本侵蝕+3								
折りたたみ	2		メジャー	至近	自身	自動		
効果：Lv個アイテムを隠し持てる。								
ALL EASY EFFECT	★		常時	至近	自身	自動		
効果：全てのイージーエフェクトを最大レベルで取得								
効果：								
効果：								

レイ・シャッテン
人間、16歳、女、150後半
ドイツ人の父と日本人の母の間に生まれたハーフ、今は父が育った街に留学中の元気がいい高校二年生。
レネゲイドの覚醒は幼少期に済ませており、好奇の視線にさらされることを嫌ったため周囲にはバレていない。
同時にUGNやFHという組織とも縁遠く、正直遠い世界の話しではないのか？と思っている。
旅が好き。日本から外国に出て世界の広さを知ったため世界中を見て回りたいと思っている。
子供の一人旅は危険だが、オーヴァードの彼女には中々無縁の話である。
現在は上記の世界旅行の一端として大陸横断中。
シンドロームはウロボロス/モルフェウス。なんでもござれでソロ活動にも向いているため本人的にも満足。
欲を言えばバロールの便利形能力も欲しかったなあと思っていなくはない。
日記を手帳にしたためるのが癖

というカヴァーで完全に演じきっている。
今回のカヴァーには実際に『レイ・シャッテン』という少女が本当に存在する。
正体はFHの元実験体。
元々のシンドロームはエグザイル/モルフェウスであった。
ほかは凡庸ながらも、他のレネゲイドの因子を取り込むことに対して特別優れていたため、多量の因子を投与される実験を行われた。
実験の最中に事故が発生し命からがら脱出するも、多量に注ぎ込まれた因子――他者の記憶により本当の自己の記憶、性格、外見を忘れ、微弱ながらも全てのシンドロームの能力を使用できるウロボロスのような『ナニカ』に覚醒している。
今の彼/彼女が求めるのは唯一つ。真実の記憶。自分の記憶、性格、外見を思い出すこと。
だが、組織は信用ができない。今の自分は明らかに実験台のモルモットにされかねない能力を持っている。
であれば、道は一つ。フリーを貫くのみ。顔を変え、手を変え品を変えれば誰にも己の正体はバレはしない。